

いこいの家“庵”の 運営ボランティアを募集します

みんなの居場所を継続して運営していくために
運営側にまわっていただくボランティアさんを
募集します。明るい地域づくりの活動を始めて
みませんか。

受付、訪問者の対応、相談・話し相手
簡単な開店準備、後片づけ・・・など
週1回程度の活動です

いこいの家“庵”では、今後こんなことができればいいな
と考えています

- ・独居高齢者の孤立の解消
 - ・世代間交流、子どもの学習支援
 - ・外国人との異文化交流
 - ・作りすぎてしまった野菜等の受け入れ 有効活用
(食品ロス)
 - ・趣味創作の発表の場
-等々

自治会長さんにインタビュー

みんなの居場所「いこいの家“庵”」のスタートにあたって、
地域とのつながりを大切にするため、近隣(西部公民館区)の自治会長さんへ挨拶に伺いました。
これからの地域づくりについてコメントをいただきました。お忙しい中ありがとうございました。



第10区東志部自治会 関克守会長

超高齢化の時代ではありますが、年齢が高齢なだけではダメで健康で長寿というのが誰でも願う事だと思います。
それには日頃から体と頭を無理のない程度に使うことだと思います。今回この「北中地区協議体きずな」は17自治会が
対象ですので今までは知り合いではなかった方々とも顔見知りになり、仲良くなっていろいろ教えてもらったり教えたりと
必ずプラスになる事と思います。今回の居場所も第10区自治会の地域ですので、共に連携を強化して協力していきたい
と思っております。

東松原自治会の岩崎です。災害が発生した時、子どもから高齢者の方々が安心して
行動出来る様、地域の防災役員とボランティアの皆様で日頃より話し合いをして
見守っていききたいと思います。



東松原自治会 岩崎正男会長



第12区自治会 沖田博会長

どこの自治会も高齢者が多くなっていますが、健康寿命の源は運動が重要です。
過激な運動は無理ですのでウォーキングで体を動かすことです。地区のごみ拾い
をしたりいつも笑顔で生活していくことが健康増進には非常に大切です。

北中地区協議体では、「2025年問題」に対処すべく地域共生型居場所「いこいの家“庵”」
の開所に向け、尽力されていると伺いました。

関係する皆さまのご尽力に、地元自治会長の一人として深く感謝申し上げます。



西志部自治会 太崎美明会長

編集後記

今回特集した「いこいの家“庵”」は、前回のきずな通信の記事にあった
8月実施の「地域の居場所づくり講座」に参加した人たちが中心に立ち上がりました。
まずは、誰でも立ち寄れる居場所ということで始めていき、
いずれは様々な個人、団体、企業等ともつながりをもっていきたいとのことでした。
このようなつながりを促進するのも、協議体の役目です。
ご理解、ご協力の程よろしくお願いいたします。

事務局：大泉町社会福祉協議会
〒370-0523 大泉町吉田2465
電話 0276-63-2294
生活支援コーディネーター
sc@oizumishakyo.or.jp